

令和6年10月4日

保護者の皆様

豊見城市立ゆたか小学校
校長 上原 義仁
(公印省略)

校内での儀式等における児童の服装（式服）について

時下、保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃から、本校教育活動へご理解とご協力をいただきありがとうございます。時下、保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、本校では、校内での儀式等で着用する服装（いわゆる「式服」）は、児童の多様性を尊重する雰囲気醸成する観点から、式服の指定や色の指定等はありません。
つきましては、校内で行われる各種儀式等における式服着用の際は下記のことにご留意して下さるとありがたく存じます。
なお、このことは、これまでの式服を否定するものではないことを申し添えます。

記

○ 校内での儀式(卒業式、始業式、終業式・修了式等)などでの式服について

- (1) 校内での儀式等においては、式の趣旨および式服の定義を踏まえた上で、保護者・児童等が学校での儀式にふさわしいと判断した服装を着させて下さるようお願いいたします。
- ① 校内での儀式で共通する趣旨
節目にあたり、式を行うことで、これまでを振り返ったり、今後に見通しを持ったりするとともに、成長を自覚する機会とする。
- ② 式服とは（「日本国語大辞典」インターネット版より）
儀式や公式の場などに着用する服。
- (2) 判断に迷われる場合は、下記を参考にしてください。

校内での儀式等における式服（一例）

- ① えりがある上着やブラウス等（形状等により、えりがなくても可）
② 運動着等で使用する生地ではない服やズボン・スカート等
③ 他、一般的に儀式にふさわしいと思われる服装
④ 何色でもいい
※ 高価な服である必要はない。

- ※ 新たに購入することを推奨しているものではありません。
※ 2年生以上の保護者の皆様には、昨年度にも同様のお知らせをしております。

(経緯)

これまで県内の多くの学校では、校内での儀式等に着用する服装（いわゆる式服）を「白の上着、黒か紺のズボンまたはスカート等」としており、本校でも同様でした。

現代は個性や多様性が認められる時代であり、主体的に自分で考えて行動する人材が求められる時代となっていることから、本校では、めざす児童の姿を「自ら考え判断し行動する」としております。

そのような社会情勢や本校のめざす児童の姿から、学校が画一的な服装を求めることは行わず、上記のような判断をすることとしました。